

令和6度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	壮志会
事 業 名	先進地視察 佐賀県唐津市スポーツ局国スポ・全障スポ競技課
事 業 区 分	①研究研修 ②調 査

1 上田市での課題と研修・調査の目的

令和10年度に長野県で開催される第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会に向けて、今年度佐賀県（SAGA2024）で開催されたが、大会終了直後の唐津市（上田市開催の2種目を担当）の状況について確認し、当市の施設整備等の参考に資する。

2 実施概要

実施日時	視察先	佐賀県唐津市
令和6年11月14日（木） 午後2時～午後4時30分	担当部局	唐津市スポーツ局 伊藤 博 局長 国スポ・全障スポ競技課 中島 昇 課長 スポーツ振興課 廣嶋 幸喜 課長

報 告 内 容	<p>1 市の概要</p> <p>唐津市は、佐賀県の西北部に位置し、美しく変化に富んだ自然と大陸との交流の歴史を背景に、農林水産業をはじめとする産業や伝統的な地域文化が育ち、優れた観光地として発展している。中世には、豊臣秀吉の朝鮮出兵の前線基地となった特別史跡名護屋城跡がある。また、重要無形民俗文化財として国指定の「唐津くんちの曳山行事」は平成28年にユネスコ無形文化遺産に登録された。</p> <p>人口は、114,875人（2024年4月）、将来都市像は「海と緑にかこまれたここちよい 唐津」としてまちづくりを進めている。</p>
	<p>2 視察項目</p> <p>A 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会 SAGA2024における唐津市の取り組みについて</p> <p>(1) 貴市のスポーツ人口の推移について</p> <p style="color: red;">※市主催事業の大会参加者一覧で説明を受ける。</p> <p>(2) スポーツ振興における各ステージの取り組み状況について</p> <p>①保育園 なし</p> <p>②小学校 虹の松原カップ小学生クラブ駅伝競走等</p> <p>③中学校 なし</p>

- ④成人 唐津10マイルロードレース大会、おとうさんソフトボール大会、おかあさんバレーボール、市民種目別スポーツ大会等
- ⑤高齢者 市民ゲートボール大会等
- ⑥その他 市民体育祭（小学生から高齢者まで）等
- 市としては特定の種目を奨励せず、ポッチャやモルックなど誰もができる軽スポーツ全般を奨励。（用具は市で購入し貸し出しを行う）
- (3) 大会の誘致などスポーツ振興を図る取り組みについて
- 県大会規模以上の大会を開催するものに対し、大会運営の補助を行っている。（5年間継続、上限30万円）
- (4) スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブの活動について
- 総合型地域スポーツクラブは3団体が登録され、セーリングやサッカー等の活動が行われている。スポーツ少年団の登録はなし。
- (5) 市民レベルの大会及び研修会、講演会等の開催状況について
- (大会)
- ・市民種目別スポーツ大会（市）：一般：2,873人
 - ・唐津市陸上競技選手権大会（陸上競技協会）：中学生：1,135人
 - ・虹の松原カップ唐津市長杯バレーボール大会（バレーボール協会）：小学生：392人
- (研修会) なし
- (講演会等)
- ・少年軟連審判講習会（唐津地区少年軟式野球連盟）：一般：100人
- (6) スポーツと観光との連携を図るためのまちづくり事業について
- 観光課及び文化課において、スポーツ大会や合宿で市内に宿泊される方に対し宿泊費助成を行う。（1泊千円、50万泊を目指している。）
- (7) 佐賀国民スポーツ大会開催に合わせた、貴市の取り組みについて
- ・大会を盛り上げるための市等の取組、イベント等の実施状況について
- 機運醸成を図るため、実行委員会主催でR5年度に1年前イベントをR6年度に90日前イベントを実施。その他、R4年度～R6年度にかけて市内外で行われるイベントにPRブースを出店
- （R4：8回、R5：38回、R6：14回、計60回）また、チラシ、ノベルティ（三色ボールペン、ファイル、ポケットティッシュ）等の配布のみのイベント（R4：21回、R5：26回、R6：27回、計74回）
- ・大会会場への職員の動員や協会役員の動員及び、費用対応について
- (市職員について)
- 令和5年2月に唐津市実施本部会議（出席者は部長会議のメンバー）を立ち上げ、競技毎に割り当てとなる部署を提示。リハ大会、本大会において各部署から人員を動員（人数を提示）。費用は、国スポ総務課で予算化。財源はふるさと寄付金。総額は13億円、うち県の補助6億円、残りの7億円はふるさと寄付金で賄う。

(競技役員について)

競技の主管は、県競技団体。県競技団体から動員名簿を頂き、委嘱状を発送。旅費等は、実行委員会で旅費規程を定め支出を行う。財源は県の運営補助金とふるさと寄付金。(地元企業へはグッズの提供、横断幕、寄付金等依頼)

・来訪者への観光案内等について

大会期間中、観光協会に協力を依頼し、主要駅となる唐津駅と東唐津駅に総合案内所を設置。各競技会場においても、地域交流部の協力により、唐津市観光PRブースを設置し、来訪者に案内を行う。観光パンフレットは既存のものを増刷して対応。大会観戦ガイドブック(18P)は独自で2万部作成し、総合案内所及び各競技会場で配布を行う。また、SAGA2024国スポ・全障スポ唐津市実行委員会ホームページに掲載し、観光協会ホームページのリンク等も行う。更に 組合が独自に制作した飲食店マップ等も活用し、配布を行った。

(8) 行政とスポーツ協会との関わりについて(スポーツ施設の指定管理者制度)

市から運営補助金(3500万円)を支出し、市スポーツ協会が下部組織である各種目

競
技や地区・校区スポーツ協会を統括。また、スポーツ施設の一部(16施設)を指定管

理
者としている。

(9) スポーツ協会役員における市長の立場について

顧問として就任。

(10) スポーツ協会への職員の派遣及び補助金等の支出について

職員の派遣はしていないが、運営補助金(3500万円)を支出している。

(11) 大会出場者、応援団の宿泊、食事等の案内について

大会出場者の宿泊は、県の配宿センターで行う。(市へは事前の問合せはない)大
会

期間中の昼食は、希望者に対し斡旋弁当の注文を受け付けて対応。また、主要駅に総合案内所及び会場にも観光案内所を設置し、宿泊施設や食事処などの案内を行う。

(12) ボランティアや市民等の応援動員等における課題について

ボランティアに多くの学生(主に高校生)を割り当てたが、当日のキャンセルが多
く、

当日の人員配置が不足する係もあった。また、応援の動員については、希望調査を行い、学校観戦を実施したが、休日の観戦希望はほとんどなかった。(野球場の応援は統率が取れていて、非常に好評とのことだった。)市民・企業・地域団体等への応援動員等は、行っていない。

報 告 内 容	<p>B 唐津市内での競技開催に伴う施設整備について</p> <p>(1) 佐賀国民スポーツ大会に合わせた貴市の取り組み状況について</p> <p>大会開催のための施設改修は、軟式野球競技のメイン会場となる唐津市野球場の現地建替え、軟式テニス競技会場の松浦河畔公園庭球場及び練習会場となる2会場の人工芝の張替え、バスケットボール競技などの会場となる唐津市文化体育館ほか2会場の床研磨改修を実施。このほか、大会開催に向けて、老朽化した競技場空調設備の改修や照明施設のLED化、会場周辺駐車場などの整備を行う。(総事業費26億3千万円)</p> <p>(2) 大会終了後のスポーツ施設の管理について</p> <p>大会に使用した施設は既存の施設を改修・改築したもので、大会のために新たに建設した施設はないので、大会開催前と変わらない体制で管理運営を行う。</p> <p>(3) その他</p> <p>令和8年度末を目指した中学校部活動の地域移行における取り組み状況について唐津市の部活動改革の課題</p> <p>令和6年度においてモデル校の選定を行い、スポーツ推進委員等へ協力を依頼して進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受け皿、指導者の確保 ・ 活動場所の確保 ・ 大会参加のあり方 ・ 事故等への対応 ・ 受益者負担への理解
------------------	--

まとめ

SAGA2024 国スポ・全障スポ唐津市開催競技は 13 種目を実施。国民スポーツ大会はソフトテニス、軟式野球など 6 種目。全障スポ正式競技は 2 種目。会期は、国スポが令和 6 年 10 月 5 日(土)から 10 月 15 日(火)までの 11 日間、会期前実施競技は、9 月 21 日(土)から 10 月 1 日(火)までの 11 日間、全障スポは、10 月 26 日(土)から 10 月 28 日(火)までの 3 日間で行われ、このほかにも公開競技(綱引)やオープン競技(パラサーフィン)、デモンストレーションスポーツ(ユニカール他 3 種目)等が行われた。

大会会場の施設は、既存の施設を利用して改修等を行い対応したが、国スポを盛り上げるため、一年前イベントや 90 日前イベントに際し、地元開催種目の教室には金メタリスト等を招聘して実施するなどしている。また、県や競技団体との役割分担が分かり易く、担当に専念できてよかったとのことだった。駅と大会開催会場での観光案内や市で独自に作成した「観戦ガイドブック」は好評で、暑さ対策で無料配布の飲料は特に感謝されたとのことだった。

国スポ大会は選手だけでなく、競技の普及振興を図る意味もあることから競技団体等との事前の取組が必要と思われる。また、県内外から大勢の関係者が初めて訪れるため、観光案内や看板の設置、案内誘導にも配慮が必要と思う。2 回目の長野国民スポーツ大会の地元(上田市)開催に向けて、訪れて良かったと思われる大会運営を図るよう担当部局に情報の提供を含め対応に努めて参りたい。